

公園文化

2006
春

[特集]

地域を元気に

“地域活性の原動力”となる公園



第7号



公園文化

2006年・春・第7号

CONTENTS

特集

地域を元気に3

—“地域活性の原動力”となる公園—

●巻頭インタビュー 4

地域住民が楽しめて主役となって活躍する公園は、地域を元気にします

中瀬勲 兵庫県立大学教授

■“地域活性の原動力”となる公園① 6

東京都三鷹市(丸池の里・新川丸池公園)

行政と地域が一体となって公園の活性化を推進

■“地域活性の原動力”となる公園② 12

伊予市双海町(ふたみシーサイド公園・ふたみ潮風ふれあい公園)

「夕日の町」の交流拠点となる公園づくりで、地域を活性化

■公園ものしりファイルQ&A 16

防災公園ってどんな公園？

市川市水と緑の部 公園緑地課主事 矢島裕樹さん

■なんでもトップ・テン 第7回「人気となっているバラのトップは？」 17

デザインの視点⑥ 18

●国営みちのく社の湖畔公園「ふるさと村・釜房の家」

ボランティアと一緒に目指した

“古民家に人がいる風景”のデザイン

(株)緑の風景計画・企画設計部長 板垣久美子

■公園の達人 第6回 20

自然と共生する日本の文化を

遊びを通じて発信していきたい

逸見祐司さん・「野と森の遊び文化協会」理事長

■情報の交差点 20

■トーク&トーク 第7回「公園での昆虫採集」 22

■ぱーくたいむ 第7回 23

書庫としての公園

長部日出雄(作家)

「野駆け」関口ココ(きり絵作家)

■世界のパークファニチュア 第7回 24

中国のパークファニチュア・その2

「NO.1の国」

田中一雄(GK設計取締役 社長)



2006年・春・第7号の表紙

「アジサイとナナホシテントウムシ」

イラスト/渡辺由利



特集「地域を元気に」 — “地域活性の原動力”となる公園 —

「地域に元気がない」とは、どういうことでしょうか？
人々がふれあう機会や場所が少なかったり、
また、地域に自慢できるものが
実はいろいろとあるのに、
それがあまり知られていなかったりする
ケースもあるかもしれません。

そんななか、公園を使うことによって
地域に住む、さまざまな年代の人々やものを、
元気にすることはできないでしょうか？
今回は、公園を通して、
地域を元気にするための
いくつかの取組みを紹介し、
これから公園を使って、なにができるかについて、
考えていきたいと思います。

